

愛媛県宇和島市岩松川下流域で得られたアカテガニ

高木基裕¹・田村裕子²・田村菫悟²

¹愛媛大学南予水産研究センター

²宇和島市



写真1 *Chiromantes heamtocheir* アカテガニ
(EF16223-16228)

種の記録

Sesarmidae ベンケイガニ科

Chiromantes heamtocheir (De Haan, 1833)

アカテガニ(写真1)

標本 愛媛大学沿岸科学研究センター生物試料
(EF16223-16228). 採集年月日:2023年10月6日.
採集場所:愛媛県宇和島市 岩松川下流域
(33.1208N, 132.5215E). 採集方法:タモ網. 6 個体
(全て♂), 甲長 21.2-31.3mm.

種の特徴

採集個体はいずれも、甲は四角形で表面は平滑で光沢があり、写真1にみられるような色彩の個体の他に、前側縁がより黄色味を呈する個体がみられた。前側縁は眼後歯の後に切れ込みはなく、まっすぐに左右平行して後走し、後側縁に達する。鉗脚は強大で鮮紅色を呈する。

備考

愛媛県において本種は瀬戸内海側の各所から報告されているが(例えば山本ほか, 2007b; 愛媛県, 2014), 宇和海側では愛南町御荘湾など一部に限られる(山本ほか, 2007a). 本種は愛媛県では絶滅危惧 I 類(CR+EN)に指定されており, 広域的な生息状況の把握が重要であることから, これまで公式な記録のなかった生息地での近年の確認記録として, 採集標本に基づき報告する. なお, 宇和島市岩松地区においては, 本種は段畑を形成する石垣の隙間などに普通にみられ, 夏期の大潮期の夜間満潮時に, 多数のアカテガニのメスが市街地を通過して岩松川河口に産卵に向かう光景は, この地区の夏の風物詩となっている。

引用文献

愛媛県. 2014. アカテガニ. 愛媛県レッドデータブック 2014. (<https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/top.html>. 2023年10月10日参照)

山本藍子・水野晃秀・町田吉彦. 2007a. 愛媛県愛南町の干潟で確認されたクシテガニ(カニ下目ベンケイガニ科). 四国自然史科学研究, 4: 62-64.

山本貴仁・小川次郎・宮脇馨. 2007b. 愛媛県越智郡上島町赤穂根島総合生物調査. 愛媛県総合科学博物館研究報告, (12): 27-47.

(2023年10月12日受付, 2023年11月6日公開)

連絡先: 高木基裕 (e-mail: takagi.motohiro.mc@ehime-u.ac.jp)

(Motohiro Takagi, Yuko Tamura and Shogo Tamuta. 2023. Record of *Chiromantes heamtocheir* (Sesarmidae) from Iwamatsu River, Uwajima City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 23017)